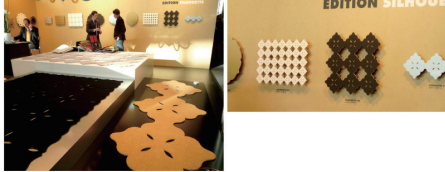


スタイル傾向 - ② (フロア・照明・その他)

■フロア

●モダンな形にカットしてレイアウトする提案が新鮮



●毛の凹凸感でのバリエーション豊富



●変わり毛足のものが益々増えた



■照明

●筒型も依然続く



●シャンテリア系はキープ



■その他

●ラインビュー (ひも状間仕切り) にプリントは新鮮

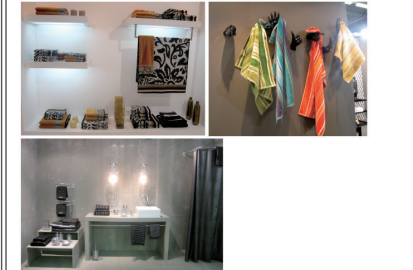


●クッションにもアクセサリ、金具やリボンなど



■タオル・バス関連

●スタイルのあるディスプレイが斬新



～去年のメタリック・ストラクチャーは、もう当たり前。
更に多様性が加わり「一通りでないひと工夫」が意外性を高める～

経済危機を体感しながらも、出展者は革新的なアイデアと
現代的セールスの可能性を提示した。

～ハイムテキストスタイル ファイナルレポートより

P / パターン	C / カラー	Q / クオリティ	S / スタイル&ディテールワーク
<p>①バロック調たて梓唐草 ・今年はいージバロック</p> <p>②超ビッグ柄 (1m超レピート) ・オーナメント ・シンプルな葉シルエット ・幾何</p> <p>③チェック&ストライプ ・大胆なチェックと細めのストライプの コーディネート多用</p> <p>④ライン柄とフラット柄 ・和モダン菊紋様柄 ・テコ調キカ柄 ・放射線大柄 (昨年のオプティカルアートは減少)</p> <p>⑤パッチワーク構成 ・縞、ヨコ段構成、透け感のある無地や JQとの組み合わせ</p> <p>⑥ソフトフラワー (手書き風) ・水ぼかしやファジーなラインタッチ</p>	<p>①パープルバリエーション (紫・パープル・赤紫) ・東洋的で神秘的な色 ・寝装では白と組み合わせられ、カーテンでは 黒 (グレー) とのコンビネーション多用 ・アップルグリーンとの組み合わせも新鮮</p> <p>②モノトーン (+ポイントカラー) ・昨年からの流れにポイントカラーがプラス (きれいなカラシ・オレンジ・ブルーなど) 但し、黒と同様にグレーも多用</p> <p>③ジュエリートーン (今年らしい色) ・深く透明感のあるサファイヤカラー、 エメラルドカラー ・高貴なイメージ</p> <p>④白のコレクション (とメタリック) ・魅惑的なパウダートーン ・ベージュ～白～クリームにメタリックな 色がオン ・オーガニックカラー (麻色+白+グレー)</p> <p>⑤コットンライクなチアフルカラー ・ピンク/パープル ・オレンジイエロー/グリーン ・ペパーミントブルー/ラズ茶</p>	<p>①ひと工夫したストラクチャー (織組織後加工) ・しわ加工に箔プリント ・プリント加工+ステッチ押え ・スモッキング ・風通、フレ織り ・キルト、ステッチ ・フロントカット ・ラロコ状レイヤー ・エンボス (バイソンなど)</p> <p>②オープンワーク・透け感のある薄地 ・メタリックなオパール ・大きな角目ニット ・レザーカット</p> <p>③ブライト・メタリック系 ・金銀箔プリント ・ステンレスヤーン使い ・超細番手高密度織物 ・ニットレース</p> <p>④毛足感 羽毛感 (自然素材) ・ファー、羽毛の編み込み風</p>	<p>昨年のクオリティのリッチさが、 更に洗練され品のあるイメージへと レベルアップ</p> <p>①window周辺 ・メタルの細いレール ・ぎぼしの多様性 (アクセサリ化) ・上部の演出 ・長めでギャザー (レンズタイプ) を施した ものなど。 ・アタッチメントで取り付けるカフェカーテン のようなブラインド</p> <p>②壁装 ・ポイント的な柄の入れ方 (大柄～中柄) ・凝ったストラクチャー (自然素材風)</p> <p>③フロア ・変わり毛足のもの ・モダンな形にカットしてレイアウトする提案 が新鮮</p> <p>④寝装 ・目立った変化はないが凝ったストラクチャー が時折目を引いた</p>